

# 第5期中原区地域福祉計画

～福祉のこころ、人と人との橋わたしで  
支え合える地域づくり～

**この計画は、区民が抱える生活課題に区民自らが主体となって取り組み、  
さらに地域全体で支援するための計画です。**

一人ひとりが自分でできることに取り組み(自助)、地域のみんでできることは助け合い(互助)、それでも解決できない問題は、医療や介護サービスなどの公的制度を利用し(共助)、社会福祉等の行政サービスの提供や法制度に基づく支援を行い、また、区民が必要とする情報を行政から提供し、住民組織、団体や社会福祉協議会の活動情報を橋わたしする(公助)ことで、区民主体で支え合える地域づくりをめざします。

## 区民一人ひとりが主役です！！

一人ひとりができること

地域のみんでできること

**自助**

パンジー体操に  
参加して  
健康を維持します！

町内会・自治会に  
加入します！

防災訓練に  
参加します！

困っている  
ことがあったら  
伝えよう。

福祉のこころを



ボランティア活動  
に参加します！

困っている人  
をみんなで  
支えよう。

あなたの地区の  
民生委員児童委員  
です。

**互助**

近所の人を誘って  
子育てサロンに  
行きます。

ゴミ出しは  
私たちに任せて！



医療サービス  
を提供します。

介護サービス  
を提供します。

**共助**

民生委員児童委員活動を  
支援します。

ボランティアの養成や、  
活動を支援します。

福祉サービスなどの  
情報を発信します。

区民が気軽に相談  
できるようにします。

**公助**

必要な支援やサービスを提供します

# 中原区がめざす地域福祉

## 区の現状

- ①人口増加が続いている(約254,000人) **7区で1番**
- ②0～9歳、20～54歳の割合が市より高く、平均年齢が若い(40.9歳) **7区で1番**
- ③1年間で約21,000人の転入、約19,000人の転出 **7区で1番**
- ④出生数(2,992人)、出生率(12.5%)ともに多い/高い **7区で1番**
- ⑤総人口は2040年にピークを迎えるが、高齢者人口は増加を続ける(平成29年の高齢化率15.3%)
- ⑥高齢者の5人に1人はひとり暮らし
- ⑦障害者数は増加傾向

## 区民の意見(抱える課題)



## 課題解決のために取り組むべき視点

- 転入者や高齢者の増加に伴い、近所づきあいが希薄になっている
- 活動や取組を区民に知ってもらうために広報の充実が必要
- 地域の目が届きにくく、支援が行きわたらない人がいる恐れがある
- 団体同士が課題を共有し、ネットワークを強くしていくことが大切

①川崎市統計情報「川崎市の世帯数・人口」平成29年10月1日現在  
 ②⑤川崎市統計情報「年齢別人口」平成29年10月1日現在  
 ③川崎市統計情報「区別月別人口動態」(平成28年1月～平成28年12月の合計)  
 ④川崎市健康福祉年報(平成27年)  
 ⑤「川崎市総合計画第2期実施計画の策定に向けた将来人口推計について」  
 ⑥平成27年国勢調査 ⑦川崎市健康福祉年報

## 基本理念

# 福祉のこころ、人と人との 橋わたしで支え合える地域づくり



### 自助・互助の視点

### 基本目標 1

区民が主役の地域づくり

### 基本方針

- 1 誰もが参加できる健康・いきがづくり
- 2 ボランティア・NPO活動支援
- 3 活動・交流の場づくり
- 4 人材の育成
- 5 地域の見守り・支え合いの推進
- 6 地域課題の解決に向けた支援の充実

住民交流の機会を提供し、活動に参加するきっかけをつくります。子どもの頃から地域に関心を持つことにより、地域福祉の新たな担い手を育て、世代がかわっても循環していく地域づくりをめざします。

### 共助・公助の視点

### 基本目標 2

必要な支援やサービスが的確に届けられる仕組みづくり

### 基本方針

- 1 情報提供の充実
- 2 包括的な相談・支援機能の充実

きめ細かな情報収集のもとニーズを把握し、情報提供を行い、困っている人たちを助けられる仕組みづくりを推進します。

### 自助・互助と共助・公助の間を支える取組

### 基本目標 3

多様な主体が連携した施策・活動の推進

### 基本方針

- 1 保健・医療・福祉の連携
- 2 市民・事業者・行政の連携・協働
- 3 社会福祉協議会との連携・協働

地域のネットワークをより一層強化し、地域の活動を支援し、効率的な地域福祉活動を推し進めます。

## 主要な取組

### 地域で活躍できる、福祉の担い手づくり

基本目標1-方針2,4

子どもから高齢者まで、また、障害や病気の有無に関わらず、より多くの区民が、それぞれの状況に応じて役割を持ち、支え合いながら、地域福祉活動に参加し活躍できる福祉の担い手づくりを進めていきます。

### 支援を必要とするすべての人が適切な支援を受けられる取組の充実

基本目標2-方針1,2

区は、相談を待つだけでなく、近隣の居住者や地域の活動団体等から情報を収集し、支援を必要とする区民の情報を的確かつ速やかに把握するとともに、当事者が深刻な状況に陥る前に積極的にアプローチしていきます。

～課題の解決に向けて、主要な取組に位置付けられた事業に限らず、すべての事業を主要な取組の考え方にに基づき、推進します。～

# こなまち中原

地域で行われている取組や活動を紹介します。

## <なかはらパンジー体操を通じた健康づくり・介護予防>



ご当地体操で健康づくりと地域交流のきっかけに

## <健康づくり・介護予防グループ支援>



上小田中南公園体操では、多世代も交流

## <なかはら福祉健康まつりの開催>



約50団体が参加して来場者や団体が交流を深めます

## <小中学生の子育てサロンふれあい体験>



命の大切さ等を学ぶふれあい体験

## <地区カルテを活用した地域課題の解決に向けた取組>



課題解決の取組を話し合う  
ワークショップを実施

※地区カルテとは、区を5地区に分け、  
各地域の情報や課題・分析をまとめたもの

## <様々な情報の発信>



「子育て情報ガイドブック」  
出生時及び子育て中の世帯へ  
転入時に配布



「シニアのためのおでかけマップ」  
地域活動、公的サービスの紹介

## <中原区地域包括ケアシステムネットワーク会議の取組>



町会・学校・企業等、様々な分野から約100団体が参加

### 他にもこんな取組

- ・中原区子育て支援推進事業～子育てサロンの開催～
- ・健康づくりや介護予防に係るボランティアの支援
- ・中原区在宅療養推進協議会との連携

計画の詳細は  
区ホームページでも確認できます →



発行／川崎市中原区役所 地域みまもり支援センター 地域ケア推進担当

〒211-8570 川崎市中原区小杉町3-245

TEL:044-744-3239 FAX:044-744-3196

URL:<http://www.city.kawasaki.jp/nakahara/>

平成30(2018)年3月発行